

## 選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

## (1) 観点ごとの分析

観点B-1- : 高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

## (観点到に係る状況)

公開講座の企画・運営は、教務主事を委員長とする公開講座委員会で行うこととしている(資料B-1- -1)。年度当初に各学科等から提出された計画を公開講座委員会で審議し、当該年度計画の大筋を決めている。公開講座の対象は小学生から一般人まで幅広く、実施時期は夏季休業中に集中している。内容は、地域との交流を主眼においたテーマと本校の特徴を活かしたテーマをバランスよく開催できるように努力している。

過去3年間に開催した講座数は、平成17年度10講座、平成16年度6講座、平成15年度5講座である。

地域との交流を主眼においたテーマは、テニス教室、ゴルフ教室、水泳教室、健康講座、絵画教室等で、本校の特徴を活かしたテーマとしては、洋上講座、コンピュータ教室、電子工作、ロボット作成等がある。特に、洋上講座は、練習船「弓削丸」、本校教員の講演及び史跡の見学を盛り込んだ人気が高い講座で、平成18年度で18回目を数える。健康講座やコンピュータ教室は上島町との連携を図り、受講者の確保とサービスの充実に努めている。また、本校は「海の記念日」の意義を地域住民に広く知ってもらうために、練習船「弓削丸」を活用した「一日船長」等の教育サービスも実施している(資料B-1- -2)。

参加者の募集に関しては、各テーマごとの案内資料の作成・配布(資料B-1- -3)、ホームページへの掲載(資料B-1- -4)、上島町との話し合い等を行い、周知に努めている。また、平成17年度より、愛媛県教育委員会生涯学習課が行う「学び舎えひめ悠々大学運営事業」に協力・実施機関として登録している(資料B-1- -5)。平成18年度からは、今治市海事都市構想の一環で実施される「海洋に関する市民講座(仮)」への講師の派遣を行うことになっている。

## (分析結果とその根拠理由)

本校では、公開講座の企画・運営を公開講座企画委員会で行うことで、組織的かつ計画的に実施している。内容は、「弓削丸」を多用する等の本校の特色を活かしたテーマと地域との交流を目的にしたテーマをバランスよく配置している。また、受講対象者も小学生から一般人まで幅広く募っている。

以上のことから、高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているといえる。

資料B - 1 - - 1

## ○弓削商船高等専門学校公開講座規則

制 定 昭和62年2月27日

最終改正 平成17年3月1日

(趣旨)

第1条 この規則は、弓削商船高等専門学校（以下「本校」という。）学則第52条第2項の規定に基づき、公開講座に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 公開講座は、本校の専門的、総合的な教育・研究機能を地域社会に開放することにより、生活上、職業上の知識・技術及び一般教養を身につけるための学習の機会を広く社会人等に提供することを目的とする。

(委員会)

第3条 公開講座の企画及び運営等を審議するため、公開講座委員会(以下「委員会」という)を置く。

(審議事項)

第4条 委員会は次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 公開講座の開設計画に関する事項
- (2) その他公開講座に関する事項

(組織)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務主事
  - (2) 各学科及び総合教育科から選出された教員各1名
  - (3) 庶務課長及び学生課長
- 2 前項第2号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員会に委員長を置き、第1項第1号の委員をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を主宰する。
- 5 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(開設場所)

第6条 公開講座は、本校の施設を利用して行う。ただし、必要がある場合は、本校以外で実施することができる。

(講師)

第7条 公開講座の講師は、本校の職員とし、校長が委嘱する。ただし、必要がある場合は、本校以外の学識経験者を講師として委嘱することができる。

(開設)

第8条 公開講座の開設は、運営委員会の議を経て行う。

(修了証書)

第9条 公開講座において、所定の時間の3分の2以上出席した者には、修了証書を授与することができる。



資料B - 1 - - 2

## 第2回弓削商船高等専門学校「海の日」記念事業実施要項

## 「一日船長」貴方も船長になってみませんか

目的 海の日記念日は、海上交通、海上安全の確保、海洋の開発・利用と環境の保全など、海洋国家日本にとって海の果たす役割とその重要性について、広く国民に理解と認識を深めてもらうことを目的とする。

期日 平成17年7月23日(土) 坂出地区  
平成17年7月24日(日) 高松地区

参加費 無料

定員 50名

修了証書 参加者には全員「弓削丸船長証明書」を交付します。

日 程	集 合	行 程
7月23日(土)	12:30 丸亀港(外堀岸壁) 弓削丸横 集合	13:00 出港 15:00 入港
7月24日(日)	9:30 高松港(2万トンバース) 弓削丸横 集合	10:00 出港 12:00 入港

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ、7月15日(金)までにお送りください。FAX、はがき、メールでの申込みもできます。保護者の方が参加される場合は保護者欄もご記入ください。  
なお、受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。また、お申込みの際いただきます個人情報は本件以外に使用することはありません。

申込み及び問い合わせ先

〒722-2324 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000  
弓削商船高等専門学校庶務課専門職員  
TEL0897-77-2877 FAX0897-77-4691 Mail [kikaku@office.vuge.ac.jp](mailto:kikaku@office.vuge.ac.jp)

----- キリトリ -----

第2回弓削商船高等専門学校「海の日」記念事業参加申込書

ふりがな

氏 名 \_\_\_\_\_ 性別 男・女

生年月日 平成 年    月    日 小・中学    年生 年齢    歳

ふりがな

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男・女

保護者生年月日 昭和 年    月    日 年齢    歳

住 所 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

出典：海の日記念事業実施要項

資料B - 1 - - 2

**海の日**

弓削商船高等専門学校練習船

平成17年7月23日(土)

於：丸亀港

平成17年7月24日(日)

於：高松港

**弓削丸**

YUGE MARU

**「一日船長」**

お~い!  
小学生  
中学生集合!

貴方も  
船長になって  
みませんか

あなたの写真入り「船長証明書」をお渡しします。

申込・問合せ先：弓削商船高等専門学校・庶務課

TEL 0897-77-2877 FAX 0897-77-4691

出典：「一日船長」案内(表)

資料B - 1 - - 2



# 「海の日」

海の日記念日は、海上交通、海上安全の確保、海洋の開発・利用と環境の保全など、海洋国家日本にとって海の果たす役割とその重要性について、広く国民に理解と認識を深めてもらうことを目的としたもので、昭和16年に当時の通信大臣、村田省蔵氏の提唱により次官会議を経て決定されました。この海の記念日の由来は、明治9年、明治天皇が東北・北海道ご巡幸の帰途、青森から函館を経て汽船「明治丸」で、横浜港にご安着された日（7月20日）にちなんだものです。軍艦以外の汽船で当時の最優秀新造船であった明治丸をお召船としたことが将来の海洋国日本を予言するものとして、国の記念日とするにふさわしい日とされました。なお、明治丸は当時の姿をそのままに今も越中島の東京海洋大学（旧東京商船大学）に保存公開されています。

## 体験乗船

平成17年7月23日(土)  
13:00～15:00  
**丸亀港**  
(港町 外堀岸壁)



## 「一日船長」

平成17年7月24日(日)  
10:00～12:00  
**高松港**  
(2万トンバース)



乗船ご希望の方は、弓削商船高等専門学校・庶務課まで  
お申込み下さい。弓削丸の乗船定員により、同伴の保護者  
の方も含めて先着50名様までとさせていただきます。  
出発の30分前より弓削丸前で乗船手続きをいたします。

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地  
弓削商船高等専門学校・庶務課  
TEL0897-77-2877 FAX0897-77-4691

出典：「一日船長」案内（裏）

資料B - 1 - - 3

平成17年度弓削商船高等専門学校公開講座募集要項

## 第18回弓削丸洋上講座「技術と文化」

弓削商船高等専門学校練習船「弓削丸」で瀬戸内海をクルージングしながら、歴史、環境、文化について考える、1泊2日の公開講座です。今年の目的地は呉です。

講師 総合教育科 講師 坂内 宏行「国際語としての英語とその歴史」  
電子機械工学科教授 大石 健司「ものつくりとダイヤモンドーダイヤモンド工具あれこれー」  
情報工学科 講師 徳田 誠 「震災時におけるレスキューロボットの開発について」  
商船学科 助教授 児玉 敬一「船舶の測度の歴史と変遷ートン数とはー」  
" 教授 多田 光男「瀬戸内海の海上交通と海難」

期 日：平成17年9月23日（金）～24日（土）

対 象：市民一般（高校生以上）

定 員：20名程度

受講料：無料（ただし、諸経費として損害保険料、船内食事代、寝具クリーニング代等2千円いただきます。また、現地での入館料、夕食代が別に必要です。）

集 合：9月23日（金） 8時15分 弓削商船高等専門学校（学校棧橋）  
10時00分 今治港第1棧橋

宿 泊：9月23日（金）呉で船中泊。

解 散：9月24日（土）16時00分 今治港第1棧橋  
17時30分 弓削商船高等専門学校（学校棧橋）

主な見学地：長門の造船歴史館（倉橋島）、大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）など。

備 考：保険証（写しでも可）、洗面用具、バスタオル、寝間着、スリッパ等をご用意ください。23日（金）の船内夕食はありませんので、各自上陸して取ってください。23日（金）は全員船内に泊まっていただきます。

申込方法：住所、氏名、生年月日、電話番号を明記し、諸経費2千円を添えて9月15日（木）までに下記へ申し込んでください。高校生の方は保護者の同意書を添えて申し込んでください。受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。（損害保険料は事前に申込みますので、直前のキャンセルができない場合があります。）

22日（木）宿泊希望される方はお問い合わせください。

なお、個人情報は本目的以外には使用しません。

問合せ先：〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地

弓削商船高等専門学校庶務課 三村 TEL0897-77-2877 FAX0897-77-4691

E-mail kikaku@office.yuge.ac.jp

平成17年度弓削丸洋上講座受講申込み書

氏 名 \_\_\_\_\_

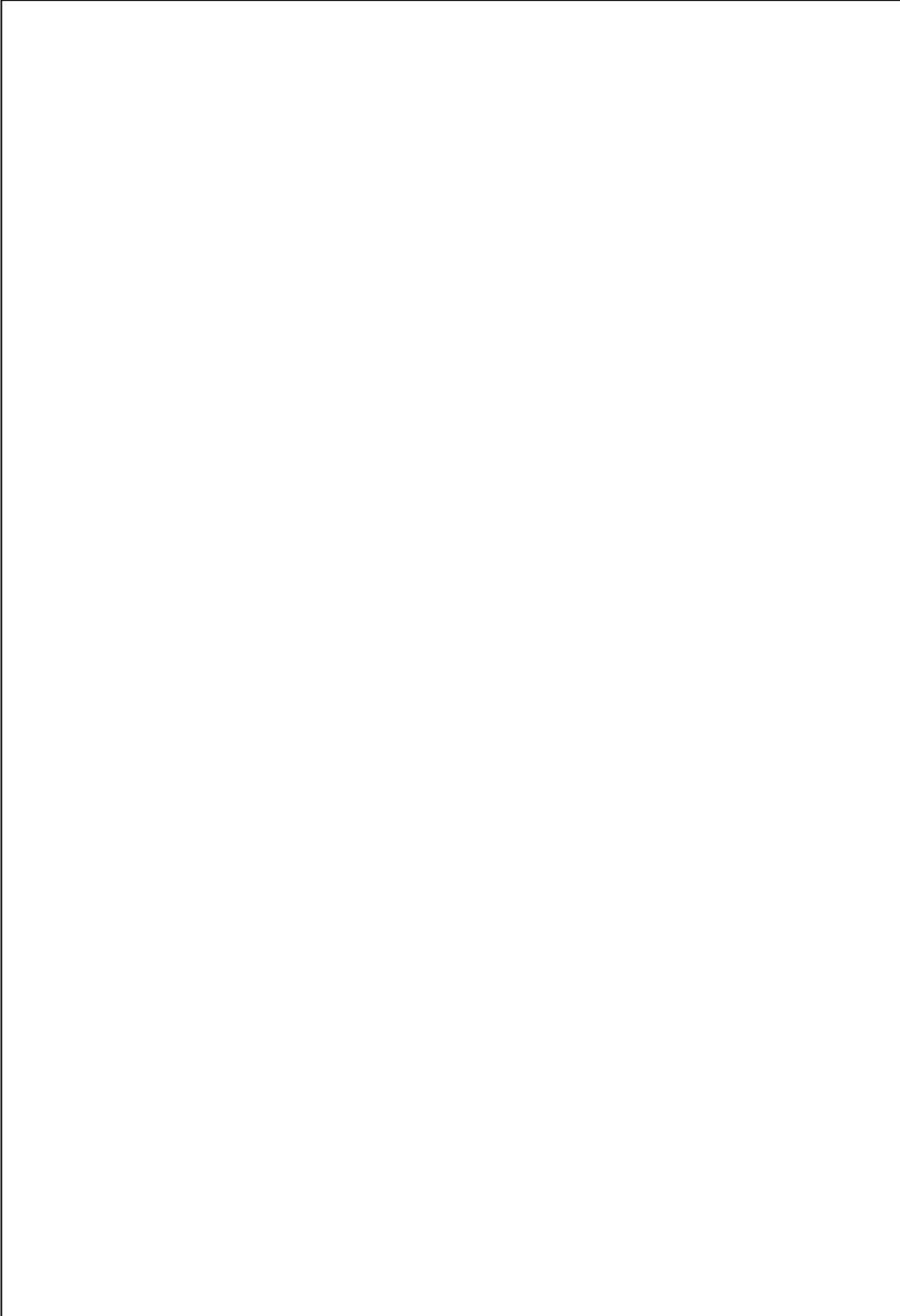
住 所 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

電 話 \_\_\_\_\_

出典：公開講座募集要項

資料B - 1 - - 4



出典：本校ホームページ

資料B - 1 - - 5

平成 17 年 11 月 22 日

弓削商船高等専門学校  
校長 西垣 和 殿

学び舎えひめ悠々大学事務局長



## 実 施 機 関 登 録 通 知 書

学び舎えひめ悠々大学へ参加申込みいただき、ありがとうございました。  
貴機関を実施機関として登録しましたので通知いたします。  
登録許可番号（ID）及び暗証番号（パスワード）をお知らせいたしますので、責任をもって管理してください。  
情報の登録等にあたりましては、愛媛県生涯学習情報提供システム管理運営要綱を遵守してください。

1 機 関 ・ 団 体 名	弓削商船高等専門学校		
2 機関・団体名（ひらがな）	ゆげしょうせんこうとうせんもんがっこう		
3 郵 便 番 号	〒794-2593		
4 所 在 地	越智郡上島町弓削下弓削1000番地		
5 電 話 番 号	0897-77-2877		
6 F A X 番 号	0897-77-4691		
7 ホームページURL	http://www.yuge.ac.jp/		
8 電子メールアドレス	kikaku@office.yuge.ac.jp		
9 連 絡 担 当 者	職 名	庶務課専門職員	氏 名
			三 村 秀 樹



登録許可番号（ID）	EMC260001
暗証番号（パスワード）	EMC260001

出典：庶務課

観点B - 1 - : サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。  
また、改善のためのシステムがあり、機能しているか。

(観点に係る状況)

本校は、公開講座等の実施に当たって、ほとんどの講座でアンケートを行い、活動の成果を調査している。過去3年間に開催した参加者数は、平成17年度132名、平成16年度88名、平成15年度67名である。平成17年度に実施された公開講座及びアンケート結果は以下の通りである(資料B - 1 - - 1)。

公開講座名と参加者数

ヨット教室：参加者数 6名

小学生テニス教室：参加者数 19名

子供絵画教室：参加者数 9名

ロボット製作教室：参加者数 10名

コンピュータを使って楽しもう：参加者数 14名

第18回弓削丸洋上講座：参加者数 27名

ものづくり教室：参加者数 2名

中高年の健康教育講座：参加者数 11名

パソコン教室：参加者数 27名

ゼロから始めるインターネット・PRホームページ開設講座：参加者数 7名

その他の公開講座

一日船長(高松港周辺,丸亀港周辺):参加者数 93名

アンケート結果

全体の意見として、全ての講座で「満足した」「良かった」「次回も参加したい」等の開講に対して肯定的な結果となった(資料B - 1 - - 2)。

改善のためのシステムとしては、講座終了後に公開講座実施報告書を公開講座企画委員会に提出し、より良い公開講座を実施するための改善を行っている。

(分析結果とその根拠理由)

本校の公開講座は、少子化が進む島嶼部の環境で講義内容の精選、練習船「弓削丸」の活用、出張講座、上島町との連携等により、参加者の確保に努めている。都市部に隣接した高専と比較すると参加者数にやや不満が残るが、概ね良好に実施されている。また、事後のアンケート結果から、参加者は満足している状況である。

以上のことから、サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっており、改善のためのシステムも機能しているといえる。



## 資料B - 1 - - 2

## 平成17年度公開講座実績

講座名称	総開設時間数	受講対象者	受講定員	受講者数	有効回答者数(A)	左の内満足回答者数(B)	満足度率(B/A)
ヨット教室	10	社会人一般	15	6	6	6	100.0%
小学生テニス教室	10	小学生	10	19	11	8	72.7%
子供絵画教室	6	小学生	10	9	8	7	87.5%
ロボット製作教室	3	小中学生	10	10	10	9	90.0%
コンピュータを使って楽しもう	3	小中学生	10	14	13	9	69.2%
第18回弓削丸洋上講座	10	高校生以上	20	27	24	24	100.0%
ものづくり教室	3	中学生	10	2	2	2	100.0%
中高年の健康教育講座	6	社会人一般	10	11	6	5	83.3%
パソコン教室	12	社会人一般	40	27	24	22	91.7%
ゼロから始めるインターネット・PRホームページ開設講座		中学生以上		7	7	7	100.0%

出典：庶務課

## (2) 優れた点及び改善を要する点

## (優れた点)

本校の公開講座は、練習船「弓削丸」を随所に活用するなどして、海洋に関する教育サービスを展開していることは優れているといえる。これに加えて、工業系2学科は「ものづくり」や「コンピュータ」をテーマに幅広い公開講座を実施しようとしている。また、講座内容も「地域との交流を主眼においたテーマ」と「本校の特徴を活かしたテーマ」の2つテーマを念頭において、公開講座が学校PRや単なる遊びの場にならないように配慮している。

## (改善を要する点)

該当なし

## (3) 選択的評価基準の自己評価の概要

本校では、正規課程の学生以外に対する教育サービスが実施できるように、公開講座企画委員会を設置して、組織的かつ計画的に実施している。内容は、「弓削丸」を多用する等の「本校の特色を活かしたテーマ」と「地域との交流を目的にしたテーマ」をバランスよく配置している。また、受講対象者も小学生から一般人まで幅広く募っていて、事後のアンケート結果から、参加者は満足している状況である。さらに、少子化が進む島嶼部の環境下での参加者確保については、講義内容の精選、練習船「弓削丸」の活用、出張講座、上島町との連携を図る等して努力している。

以上のことから、正規課程の学生以外に対する教育サービスは、活動の成果が十分に上がっていると言える。

## (4) 目的の達成状況の判断

目的の達成状況が優れている。